



FRIENDS



The Tree of Five Seasons sculpture in Cedar Rapids

今季号の内容(メインは Cedar Rapids 渡航)

1. 岐阜会長渡邊浩のご挨拶「2010 年度の交換について」
2. Cedar Rapids 渡航

(1)ED 松原さんから	松原 敬子
(2)渡航スケジュール(6/15(火)~6/22(火))	
(3)初めてのアメリカ渡航	辻 和子
(4)州都デモインクラブとのランチ	草野 敏治
(5)アイオワ州議事堂を見学	岡淵 喜久夫
(6)アーミッシュコミュニティを訪ねて	石原 美代子
(7)初めての FFI と渡航参加と フィールド・オブ・ドリーム	柳 和子、昭博
(8)ダビューククラブとのランチ	岩田 恭子
(9)ホストとの再会	児玉 美佐子
(10)また会えたね！また会いたいね！	大野 昭子
(11)初めての FF 渡航参加	小松 悦子
(12)初めての FF 渡航参加	浅野 浩美
3. メディسنハット・クラブ受入れについて
4. 編集後記

1.2010 年度の交換について

岐阜クラブ会長

渡邊 浩

2010 年度の岐阜クラブの交換クラブは渡航も受け入れも最高のマッチングに恵まれたと思います。と言いますのは、渡航先が 2007 年度に岐阜クラブを訪れたアメリカ・アイオワ州のシダーラピッズクラブであり、受け入れ先が同じく 2007 年に岐阜クラブが訪問したカナダ・アルバータ州のメディソンハットクラブだからです。最初の交換を通してお互いの文化・生活習慣・人間性について理解し合ったことを、二度目のリターンによる交換を通してさらに深化させることが期待できるからです。

私たち夫婦もこの交換に参加し、前回我が家にホームステイをしたジャネットとチャック夫妻の家にホームステイをさせていただき、再会の感激を味わうとともに、さらなる友情を深めることができました。10 月には今度はメディソンハットクラブが我がクラブをリターンの形で訪れることになっています。受け入れのホストだけでなく、メンバー全体で、さらなる友情の深化を達成できるように力を合わせましょう。シダーラピッズクラブはとてもよ

く組織化されたクラブで、今回の計画はとても機能的に運営されていました。受け入れのホストをいろんな形でホスト以外のメンバーたちが支えていくという体制が確立されており、私たちのクラブも参考にして取り入れていければということが多々ありました。



シダーラピッズ空港にて

2. Cedar Rapids 渡航

(1) Cedar Rapids への渡航

松原 敬子(ED)

Cedar Rapids クラブは、3年前に岐阜を訪問しているの、今回は再会を喜び合える、リターン交換ということで、私は、ED を引き受けた当初からこの交換を大変楽しみにしていました。また、偶然にも 3年前に 我が家にステイした Tressa が先方の ED というラッキーなめぐり合わせだったので、日程やらスケジュールやらホスティングやら、どんな事でも気軽に相談に乗っていただきました。Tressa は、まるで私のためにいつでもパソコンの向こう側にすわっていてくれるようでした。こうして準備が整い、いよいよ出発の日を迎えました。

ところが、渡航の初めから予期せぬハプニングが起きました。まず、行きの飛行機が遅れて、乗り換えが出来ず、ほとんどのメンバーが、空港近くのホテルで1泊して翌日到着となりました。そのおかげで初日に計画されていた盛大なウェルカムパーティーも台無しになってしまいました。また、滞在中、熱が出たり、お腹を壊したりした人も何人かいて、心配事も多々ありましたが、どんな時も Cedar Rapids のメンバーは あたたく最善の対応をしてくださり、本当にありがたかったです。「ハプニングを乗り越えるたびに友情がますます深まる」という話を聞いた事がありますが、本当にその通りでした。また渡航中、岐阜クラブの皆さんがいつも私

を盛り立てて色々支えてくださいました。なんとか、無事に交換を終えることができたのは、一緒に渡航してくれた岐阜クラブの皆さんのおかげです。

本当にありがとうございました。そして、会計を担当してくださった草野さんにもこの場をおかりして、お礼を申し上げます。皆さんの「楽しかったね。」という声を聞くのが、今の私の一番の喜びです。



シダーラピッズ空港にて

(2) 渡航スケジュール(6/15(火)～6/22(火))

日付	計 画
6/15(火)	4:30pm アイオワ飛行場到着。6:30pm 歓迎会 (マリオンヘリテージセンタ) 飛行機遅れにより、一部の方のみ歓迎会に参加。
6/16(水)	午前 シダーラピッズツアー。 午後 ウィキアップでディナー及びメスクワキインディアンショー。
6/17(木)	午前 州都デモインツアー、デイモンFFクラブとのランチ。 午後 プレーリシティ。
6/18(金)	午前 カロナ アーミッシュ、メノナイトファミリランチ。 午後 各ホストによる。
6/19(土)	午前 ダビューク バスツアー (ミシシッピ川記念館)、 ダビューク FFクラブとのランチ。 午後 フィールドオブドリーム、ロケ地球場にて野球。
6/20(日)	自由行動 父の日。
6/21(月)	午前 アマーナ ストア。 午後 歓送会ディナー。
6/22(火)	帰国。



バッファローは大きいですよ！

(3) 初めてのアメリカ渡航**辻 和子**

アメリカは、初めての渡航です。私はかつて職業に携わったアメリカの農業教育の流れを取り入れた農業改良事業に勤務しておりました。憧れの地です。シダーラピッズ飛行場に下りて初めて視界に広がる広大な農地、どこまでも続くサイトコーンと大豆畑。私は、ここは今年2月に2週間ほど南アメリカのアルゼンチン、パラグアイで見た光景と一緒にありました。この地がかつて見た国とつながっていることに感動を覚えました。一週間の数多くのスケジュールはさすがアメリカだと感心しました。インディアンの踊りや歴史そして文化の保存、この時は西部劇の映画を思い出しました。幌馬車で西部開拓に行く勇士とのシーン。バッファローの大きさも牛より大きいのは、驚きです。ここではすべてのサイズが大きいと感じました。数多く撮った写真を見ながら現地の様子を想い描いております。

私は、フレンドシップの素晴らしい岐阜支部の方々のおかげで、心から思い出多い体験が出来ましたこと本当にありがとうございました。最後に英会話が出来ない私と一緒にステイして下さった岩田さんには、感謝一杯です。



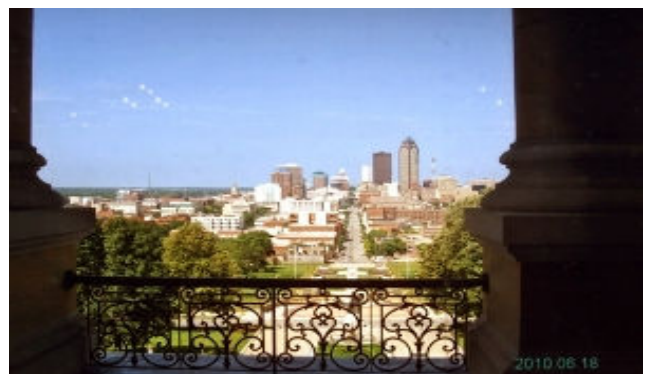
デイルさんと息が合ってますね



デモインクラブとのランチ

(4) 州都デモインクラブとのランチ**草野 敏治**

2日目、バスで州都デモイン市に向かった。デモイン市でデモインクラブとの交流があった。このクラブは20数年前に岐阜クラブが受け入れている。デモインのクラブは集会場でポトラック料理を準備し、待っていてくれた。来日した人と20数年前の思い出を話した。クラブ交換で、観光と交流のどちらを重視するのか、アイオワの各クラブの人は人の交流をとっても重視していた。集合場所で我々のデイホストを紹介された。デイホストは写真を撮ってくれたり、昼食を共にした。夫はスロバキア生まれの判事で奥さんはデンマーク生まれの元看護婦と紹介され、夫婦と季節の花の話で知り合いになった。ホストは、朝食と寝室と送迎を提供してくれた。家の中では家族の話や趣味の話で盛り上がった。外はデイホストに全て任せていた。1日付き添うデイホストと、夕食に数組を招待するデイホストでした。それ以外の人はパーティの準備や運営、バス旅行の役割や、小冊子の作成など、それぞれが受け持っていた。皆が何らかの役を分担していた。パーティは3回。ポトラック料理はメイン・デッシュ類、サラダ類、デザート類の3種類の内どれかを選択し、全員が持ってくるか、買ってくる。メイン・デッシュ類は業者への依頼分もある。今回はホスト宅で単独の夕食はなかった。次にクラブのバス旅行はあらゆる場面で飽きさせない気配りがあった。少ない期間でしたが、ホスト・デイホストと多くの人々の世話になり、友だちになることができた。多くのアイオワの人を知ることができたシダーラピッズクラブの企画に感謝したい。



議事堂からダウンタウンを望む



Hosts, Pat & Vic Klopfenstein、草野夫妻と見学を終えて

(5)アイオワ州議事堂を見学**岡淵 喜久夫**

17日(木)午前中のスケジュールはアイオワ州の議事堂見学でした。午前7時、CLARION-Hotelに集合した私たちはホスト達とバスにて州都デモインにあるアイオワ州の議事堂へ向かいました。車中にてちょっと変わったビンゴゲームを楽しみました。日本で普通にやるビンゴゲームと違い、この時のゲームは車窓から見えると思われるいろいろな風景や建物(Corn field, Stock farm, Church, Fire station)動物(Buffalo, Cow, Goat, Hawk,)等が縦横5マス合計24マス(中央はフリー)に書いてあり、見つけた時にその名前のあるマスを埋めてゆくものです。車窓からのwatchが勝負を決めます。2時間半余りで州都デモインに到着して、すぐに議事堂を見学しました。小高い丘の上にひときわ高いドームが威風堂々の風格を誇っていました。周囲を公園風にレイアウトされた木立と広がりのある芝生が一層落ち着きを感じさせました。ガイドの説明によれば、議事堂は1871年に着工され1884年に完成しました。南北363フィート8インチ、東西246フィート11インチ、アイオワ州政府の所在地として機能することに加えて、アイオワ州議会が通例毎年1月第2月曜日に開会されるとのことでした。各階に飾られた壁画や天井画、歴代知事の就任式に同席した知事夫人がその時に着た衣装を再現した人形、州議会図書館、戦艦アイオワの模型と同艦が実際に装備していた鐘、南北戦争に従軍した多くの軍旗等々、アイオワ州の歴史を物語る品々が飾られており、ガイドの案内でホストと一緒に見て回りました。ガイドの説明をホストが簡単なフレーズに云いかえてくれましたので大いに助かりました。



ダビューク FFクラブランチ会場にて



アーミッシュのランチ

(6)アーミッシュコミュニティを訪ねて**石原 美代子**

私の中での“アメリカ”のイメージは、大都市ニューヨークに集約されているのですが、今回アーミッシュコミュニティを訪問する機会を得て、別のアメリカを知り感動しました。

アーミッシュと言えば、男性は伸ばしたあごひげ、サスペンダー付きズボン、襟なしの黒い上衣を着、女性は長いワンピースにオーガンジーのキャップをかぶっていて、農業を営み自給自足、車は使わず移動には馬車を使い、電気や車などの現代文明を拒んで平和に暮らす人というイメージですが、その人々が目の前にいる不思議な感覚は夢の中にいるようでした。

私たちはアーミッシュの人たちのチーズ店や木工、キルトの店に寄って買い物をしたり、店の前に置いてある馬車に乗ったり、、、映画の一シーンのように実際馬車が行き交っているのを見た時は感動以外の何物でもありませんでした。メノナイトファミリーホームでアーミッシュの典型的な食事をいただいた時は、どれも美味しく素朴な味で、穏やかな人達が作った食事はとても豊かで滋味深いものでした。

私の知る物質文明と消費文明に色濃く塗られたアメリカとは異質の世界を知るよい機会になった今回の渡航でしたが、EDの松原さんと初めてのホームステイで私と浩美さんを受け入れて下さったディックとデキシーに感謝しています。ありがとうございました。



馬車を背景に



歓迎カードと「field of dream」ロケ地にて

ウッドベース風の楽器を奏でて

(7) 初めてのFF 渡航参加とフィールド・オブ・ドリーム 柳 和子、昭博

期待と不安を胸に、初めてのFFIによる海外渡航に出発した。予定よりかなり遅れてシダーラピッズ空港に到着。アキヒロ、カズコのカードを持ったスマートでイケメンの男性が待っていてくれた。デイルである。そのときから7日間シェリルと共に心通わす日々を過ごすことが出来た。

デイルの活躍は、シダーラピッズツアーの陣頭指揮、フィールド・オブ・ドリームでの野球の実践のための道具類の準備と、その実践の主導者。などなど幅広いものがありました。

家庭に入っては、20日の父の日に、息子、娘家族が集まり、食事、プレゼント、孫たちの爺ちゃんへの感謝の手紙、この時はジーンと来るものがありました。更には、屋外で皆での野球ゲームなど、アメリカ人ならではの慣習に立ち会うことが出来ました。ホームステイでこそ味わうことが出来た瞬間でした。今後自分たちが受入れをする際には、温かく迎え、日本のよいところを紹介したいと思います。ホームステイこそ人とのふれあいの濃い旅行であることを再確認することが出来ました。

(8) ダビュークラブとのランチ

岩田 恭子

ここでのランチはピアノとウッドベース風の楽器(タライをさかさまにしてそこからロープと木を使って作った)での素敵な音楽の調べから始まりました。品の良いおばあちゃまとその孫息子世代の若者です。ダビュークラブの人たちの粋な計らいです。彼らは私たちのためにデザートも用意してくれていました。私たちは各ホストが持たせてくれたランチをいただき、ユーアーマイサンシャインなどみんなで歌いました。私は洗濯板のような楽器や、ウッドベース風の楽器などに挑戦してみました。どれも楽しくできました。その後、私たち日本人も渡邊さんのピアノで”はとぼっぼ”など、私も”ふるさと”や”上を向いて歩こう”など伴奏してみんなで歌いました。ちょうどその日はED松原さんのん？回目の誕生日。サプライズでクラブの人たちがお祝いしてくださって感激ひとしおの場面もありました。松原さんが”茶摘”を伴奏して私たちは手遊びしながら歌って楽しみました。音楽は世界共通と改めて感じた時でもありました。



孫や、娘たちからデイルへのプレゼント



洗濯板楽器のギロも演奏しました



まさに、一期一会です



再会した、ダイアンとマイクです

(9)ホストとの再会

児玉 美佐子

いよいよ待ちに待ったシダーラピッツの空港に到着！もうすぐJerry&Phyllisに会える…心の中では私たち4人を受け入れOKしてくれた感謝と子供達の成長を見て欲しい思いやら、2年ぶりの再会を胸に描きながら降り立ちました。FFメンバー達・Jerry&Phyllisの顔があります。もう感激感激！！2年間の時間が無かったように思いました。孫の彩夏・瑛祐の成長した姿を見て本当に家族で来てくれてありがとうと言ってもらえました。1週間間に瑛祐が水疱瘡になり、渡邊さんに病院に連れて行って欲しいと通訳していただきました。すると、娘婿がお医者さんと言いうことで連絡を取ってくれ、夜遅くにもかかわらず様子を見に来てくれました。ホストファミリーの温かさを改めて感じる事ができました。

心配事もありましたが食事の時の楽しい語らい・娘さんの家への訪問等、心に残ることも多く、あっという間の1週間でした。本当にホストやファミリー、FFメンバーのみなさんにお世話になりいい思い出が出来ました。



Jerry&Phyllisたちと、屋外で食事

(10) また会えたね！ また会いたいね！

大野 昭子

今回の渡航は、ダイアンとマイクとの再会を楽しみにしていました。1日遅れでシダーラピッツ空港着。マイクがウェルカムボードを持ってお迎え。3年ぶりの再会を喜び合いました。マイクは、私の主人が来ることができなかったことをすごく残念に思って「また二人でぜひ来て」と言ってくれました。その後ダウンタウン観光に行き、ダイアンに会い、嬉しくて何度も何度もハグして喜び合いました。

ダイアンはヨウ素アレルギーで、日本では何も食べなかったのに、アメリカではホットドッグ、ハンバーガー、ピザ、何でも大口を開けて食べていたのでびっくりしました。ダイアンの趣味はアルバム作りで、私に手作りのアルバムをプレゼントしてくれました。私の一生の宝物となるでしょう。また家族にもそれぞれお土産をくれました。

私は渡航中に風邪をひいてしまい、熱にうなされる日が3・4日あり、アイオワは夢の中の出来事のようにですが、宝物のアルバムは私の手元に確かにあります。

ダイアン・マイクありがとう。また会う日まで。



アーミッシュはこの馬車に乗って移動します



ムーア家のバルコニーにて



親切で優しい、Dick と Dixie です

(11) 初めてのFF 渡航参加**小松 悦子**

初めて参加させていただいて、今回は素晴らしい体験をさせていただきました。アメリカ本土を訪れるのは、私にとって初めてです。空港に降り立った時、空港の職員にアイオワのシダーラピッズを訪問すると伝えると、観光する所はないよと言われました。アイオワは、豊かな土地、素晴らしい自然に恵まれた美しい場所でした。ホストファミリーのムーア夫妻のホスピタリティは大変素晴らしくお二人の自然と共生しながらの生活に、深い感銘を受けました。ご自宅には、毎朝たくさんの野生動物が訪れます、お二人は野鳥の為に餌場や巣箱を用意し、野生動物の領域に足を踏み入れることなく暮らしていました。本当の心豊かな生活を見たような気がいたしました。又、旅行会社のツアーでは決して訪れることのできない、アーミッシュのコミュニティに行けたことも素晴らしい体験でした。今回の訪問で英語をもっと学びたいと思う向上心もうまれました。今後とも宜しく願いいたします。

(12) 初めてのFF 渡航参加**浅野 浩美**

盛り沢山の綿密なスケジュール>Welcome Partyに始まり、Cedar Rapids 町並み拝見ツアー、州都へのバス旅行、車内でのビンゴゲーム、キルトミュージアムや水族館見学、アーミッシュ料理などなど、走馬灯のように浮かんでいきます。

心なごむステイ：毎朝、数種類の小鳥が餌を啄ばみにやってくる緑美しい木立の中の素敵なお住まいに滞在しました。親切で優しいホストの Dick と Dixie は、私たちを快く迎えて色々気を使ってくれました。野外コンサートに出かけ、また滞在中の3晩トランプに興じたことはよい思い出です。父の日にお子さんたちがプレゼントと手料理を携えてやってきました。私たちもご馳走になり、ご家族の暖かい絆に触れることができました。

期待と同時に一抹の不安のある出発でしたが、大変楽しい充実した1週間でした。今回 Cedar Rapids と岐阜の会員の皆様からパワーをいただき、非常に喜んでいきます。



ムーア家の裏庭にて



ミシシッピミュージアムでマーク・トウェーンと読書

3. メディスンハット・クラブ受入れについて(7/19 打合せ内容)

① 受入情報：10月20日(水)から27日(水)までカナダのメディスンハットから21名を受入

②日程：

10月20日(水) 広島から岐阜へ移動、岐阜羽島駅へ出迎え(午後)
その後すぐ「ウェルカム太鼓」

21日(木) 午前中、市長表敬訪問(希望者のみ)、午後フリー

22日(金) 高山、白川郷バスツアー

23日(土) フリー

24日(日) 午後6時から パーティー

「ホテル・アルモニーテラッセ」にて
立食ではなく席についてのフレンチ・コース料理(会費4200円)
岐阜市長良志段見東山537-3

(旧、長良川ホテル別館、かいらん亭)

25日(月) 京都バスツアー

26日(火) フリー

27日(水) 東京へ移動、岐阜羽島駅へ見送り

③その他役割分担は、別途 役割分担表による。

④次回打合せ：9/12(日)1pm～ 長森コミュニティセンターにて(予定)

4. 編集後記

今回原稿作成依頼の基本的な考え方は、お一人に書いて頂く原稿はA4半頁。全体を8頁以下に抑えることとしました。

次回の受入結果の編集も同様な考え方でいこうと思っています。

色々な考え方があると思います。皆様のご意見を待っています。

発行 2010年8月
編集 草野 静子・柳 昭博
事務局 志知 文子 Tel: 058-276-0397
E-mail: fumiko7@orchid.plala.or.jp